

自然教育園の早春

植生管理ってなんだよ!?



ホー…

!

ホケッ!

アラッ

ホホホホホホホホ
キキョケキキョケ
キキョケキキョケ
キキョケキキョケ
キキョケキキョケ

ホー…ホケキヨキキヨ!

ホー…ホケキヨキキヨ!

うん、まあ、
とう鳴こうと
あなたの
自由よ

ホー…

ホケキヨ!

エウセレント!

自然教育園職員
下田彰子

朝の自然教育園。
開園前に
歩いて園路を一周する



あ、
もう若葉が
出てきた

朝はまだ
寒いなあ

ツバキの花に
メジロが
やってきた。
かわいい♡

陽だまりで、
チヨウが
ひなたぼっこ
してるかも

花や
芽出しの姿って
面白いな〜

天気予報は
午後は曇りの
予報だったな。
午前中の方が
湿みそう！

木の葉が
茂ってないから
小さな花もよく
目立つよね☆

黄色いぶどうに
そっくり



路傍植物園 L 18 3月上〜下
キブシ

細〜い
タケノコみたい



路傍植物園 L 28 2月下〜3月中
ムサシアブミの芽出し

小さなラッパが
たくさん



路傍植物園 L 20 12月下〜4月上
ウグイスカグラ

折れて
危険な枝を
落としたり

ベンチの汚れや
ゴミをチェック
したり

毛むくじゃらで、
もふもふ♡



路傍植物園 R 32 3月上〜下
ヤブレガサの芽出し



杭に注目!

園路に沿って並ぶ杭には、場所や数字が示されている。その組み合わせに重複はないので、正確な位置情報を知ることができます。



待ってたよ早春!

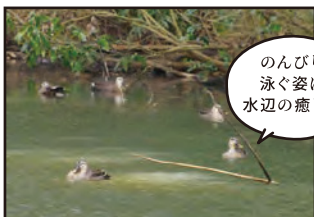
愛しのスプリング・エフェメラル♡

「スプリング・エフェメラル」は、「春のはかない命」という意味。早春に現れて、夏には忽然と姿を消す植物。……はかない……♡
カタクリとか、ニリンソウとか…。春植物とも呼びます。今しか見られない期間限定のお宝、見逃すものか～!!
そして鳥や虫たちも活動開始!



そろそろ、
巣を作り始めた
頃かな

ひょうたん池 R33 1月～7月
オオタカの鳴き声



のんびり
泳ぐ姿は
水辺の癒し♡

ひょうたん池 L94 一年中
カルガモ



これぞ、
スプリング・
エフェメラル～

ひょうたん池 L40 3月上～4月中
ニリンソウ



ふきのとうは
フキの花の
つぼみ☆

おろちの松 R33 1月下～2月中
ふきのとう



春限定の
チョウ。
翅の模様は
おぼろ昆布～

3月中～4月下
ツマキチョウ



によきによきと
芽が出る!

武蔵野植物園 L67 11月～3月
どんぐりの芽出し



青い空と
大きな白い花。
コントラストが
ナイス!

おろちの松 L6 3月上～下
コブシの花



コゲラのために
残した枯れ木に
営巣
やっほー!

ヤマザクラの
枯れ木

おろちの松 R13 3月～7月
コゲラ



つやつつやの
芽吹き☆

おろちの松 L22 2月中～下
ニワトコの葉



パスポートを
利用される方も。
3回の来園で元が取れて
大変お得です。

ごめいようす
スッ



門の外で
開園をお待ちくださる
方がいらっしゃる
ことでもあります

ごめいようす
ごめいようす

ガラガラガラ～



自然教育園は
朝9時開園!

売れの
津野でございませう

自然教育園には「現業さん」と呼ばれる三人の男たちがいる。今朝も現業小屋にて一日の準備に余念が無い。



現業小屋はとてもしらブリー♡

鎌を研ぐ。道具の手入れは大事な仕事。

研ぎは毎日！



その日の作業にあわせて道具を選ぶ。

今日は長鎌♡



僕は現業車クン！道具を乗せて運ぶのがお仕事！



お客さんが通り過ぎた……

プロワーカーチャンス☆

路傍植物園

現業さん一人目 奥津 昴
路傍植物園の維持管理作業

落ち葉掃き ①

まずはプロワーカーを使って。柵の中から外に向かって落ち葉と入り込んだ砂利を園路に吹き飛ばす。





**見どころ満載！
早春の路傍植物園** ♥

路傍植物園は、自然教育園の様々な植物が勢ぞろいする場所 ☆ イチリンソウ、フクジュソウなどのスプリング・エフェメラルも多く生育しています。その多様なラインナップを、どうぞお楽しみください！



— 秋から冬の作業 —
早春に咲く植物のために

早春に咲く植物にとって、芽を出す時期に太陽の光に当たることはとても大切！ 秋にケヤキやムクロジなどの落葉樹が落葉したら、熊手を使って落ち葉を掃き、掃いた落ち葉は、手箕(てみ)とフゴで集め、早春に備えます。冬の間の草刈りや枯草の除去も欠かせません。



落ち葉掃き ②

園路に吹き飛ばした
落ち葉を集めるのは熊手！



植物のラベル立て

早春の植物が芽を出したら、鎌を使って周辺の草を刈り、ラベルを立てる。ラベルは背の低い植物は低く、高い植物は高く……植物の高さに合わせて立てるのが大事なポイント！ ラベルと植物の高さに注目してね ☆

水生植物園

現業さん二人目
遠藤 拓洋
水生植物園の維持管理作業

あの…

すみません、
あの…

あちらに
咲いてるスマミレは
タチツボスミレ
なのかしら？



……

……

ヒメガマの刈り取り

ヒメガマが増えて水面を覆ってしまつと、トンボなどの昆虫や鳥が利用できなくなる。また、枯れた草が水底に溜まると陸地化が進むため、適度な密度に維持するため、適度な密度に維持する必要がある。そこで、長い柄のついた鎌（長鎌）を使い、春は新しく伸びてきた芽生え、夏から秋は花や実のついていない株、早春から春には実の落ちた枯草を、それぞれ根元から刈り取って間引く。夏までは1m四方に5本、秋以降は1m四方に2、3本を目安に、段階的に密度を下げて間引いている。

いや、あれは
ツボスミレです



ダイサギは作業をしている間ずっと近くにいることがあるんだよ♡



じっと動かず、エサを探す…

その名は、ハンター☆ダイサギ

ダイサギ



名前のツボ(坪)は庭の意味

壹じまなくて

水生植物園 L27

3月上～5月上

ツボスミレ



花の穂はまるでソーセージ

その長さ約20cm。コップ2個にジャストサイズ☆

ヒメガマ

ハンノキの伐採、剪定、間引き

ハンノキは、成長が早く、放置するとすぐに高木になる。水辺の明るい環境を維持するため、3月頃に伐採などを行い除去している。ハンノキは昆虫の食草、鳥やトンボの止まり木になるほか、花や実は観察のための教材に、夏は来園者に木陰を提供するなど、様々な用途で利用されている。そのため全てを除去せず、若木を残して適度に更新されるように管理している。

かつてハンノキは湿地にふつうに見られた樹木であるが、湿地がなくなったことで個体数が減少し、東京都レッドリストにも掲載されている。そのため、希少種としても保全する必要がある。



地面ギリギリを攻めて切る！

水生植物園のハンノキとその花と実



小さな腰かけに座り、黙々と風景画を描く



早春の水生植物園は
撮らずにはいられない
描かずにはいられない



ボクのまわりは、いつも人が集まるのさ☆



カワセミ

お客様のアイドル的存在

写真愛好家の方々は、植物、鳥、昆虫など様々な得意分野を持っています。「この時間と場所には、この鳥が来る」「あそこの枝が落ちてきそう」など、その観察眼から、いつもたくさんのごことを教えてもらっています。それは、自然の状況を知り、動物や来園者に配慮した管理を行うためにも、大切な情報源になっています。

白金自然写真クラブをはじめとした写真愛好家のみなさん。雨でも雪でも、毎日撮影に訪れます



←はやにえの作者

枝に獲物を刺す理由は、いまだに謎



刺さっているのはコバネイナゴ



モズのはやにえ (早費)

水辺に咲くスプリング・エフェメラル



水生植物園 L43 ノウルシ

3月中～4月中

によきによきと、地面から春～



水生植物園 R14, L34 つくし

2月下～3月下

武蔵野植物園

現業さん三人目
大澤陽一郎
武蔵野植物園の維持管理作業

今日はボランティアさんと一緒に作業をします。

今日は、アオキなどの低木を切って、クマザサを刈ります

明るい環境を作ることで雑木林に咲く草花が多く見られるようになります



はい
はい

低木の伐採



林縁にある低木は切らないでください。鳥の止まり木になります

シロネの莖やヤマハギの枝にはオオカマキリが卵を産み付けます。卵を見つけたらそのまま残してください



自然教育園で大繁殖!

透明感のある薄紫がはかなさ150%♡

春らしい名前もよきよき

里の春といえばこのお方!

これが、東京の「青木ヶ原樹海」?



武蔵野植物園 L51、R51、L70 1月上～3月中 ユキワリイチゲ



武蔵野植物園 R15 3月中～4月上 カタクリ



アオキ



早春の武蔵野植物園

あっ！

蝶が…
落ち葉に



ああこれは
キタキチヨウだな。
越冬してるんです



落ち葉の下に
越冬しているキタキチヨウや
キタテハなどを見つけたら
そのエリアの落ち葉は
残してください

早春に咲く植物のために
早春に咲くカタクリや
ユキワライチゲ、フクジュソウなどの
植物は、若葉が展開する春先に
明るい環境が必要です。
そのため冬の間に、周辺のササなどを
地際ですっきりと刈取ります。
来園者とスプリング・エフェメラル
との出会いのウラには、
こんな地道な管理が
あるんです



見た目すっきり!

ヒキガエルが産卵する池

オオカマキリの卵がある場所

ヤマハギの
枝についでる

清楚な白い花♡

武蔵野植物園 R61、L62 2月中～4月上
ヒトリシズカ

ニュース!
8年ぶりの
卵確認!

武蔵野植物園 L41 2月下～3月中
ヒキガエルの卵

ちびっこ
カマキリが
生まれるまで、
あともう少し

オオカマキリの卵

日本の
チューリップ!?
諸説あります

武蔵野植物園 R41 2月下～3月中
ヒロハノアマナ

名誉研究員
矢野亮先生
来園者の方への園内案内

あ、矢野先生だ

咲いているのは、
カタクリですね

上を見上げてください。
木々は落葉して明るいでしょう。
カタクリは、落葉して
林内が明るい早春に、
他の植物よりいち早く芽を出して、
花を咲かせ、春の終わりには
幻のように姿を消します

その後
土の中で眠り、
翌年、また
姿を現します

……あれ？
先生、タジャレは？

さすが
矢野先生のご案内
今日も大好評！

春植物の
フクジュソウ、
イチリンソウ、
ニリンソウも、
同じ生活史です

でも、今どきの
片栗粉は
ジャガイモから
できているんですね

カタクリの
地下茎は
片栗粉の原料に
なります



ナラ枯れの調査をする
八木さん。

自然教育園中を歩き回り、
今年は何んと千五百本もの
コナラとスゲジイを調べた

この木も、
フラスありだな

※フラスとは木屑のこと
ナラ枯れは、大量の木屑が
出るのが特徴です

自然教育園を支える
プロフェッショナル達

登ってみると、
この枝も枯れて
危ないぞ。

来園者の安全のために支障のある木の枝を切る作業。
造園屋さんで樹木医でツリクライマーの田中さん。
ものすごく高い木にロープを使ってスイスイ登っちゃう。

1週間に1度、
自然教育園の動植物を
記録している吉野さん。

園内の動植物を知り尽くし、
小さな昆虫も見逃さない。

あ、
ツマキチョウ！
今年初めてだ。
うれし！



指標種調査

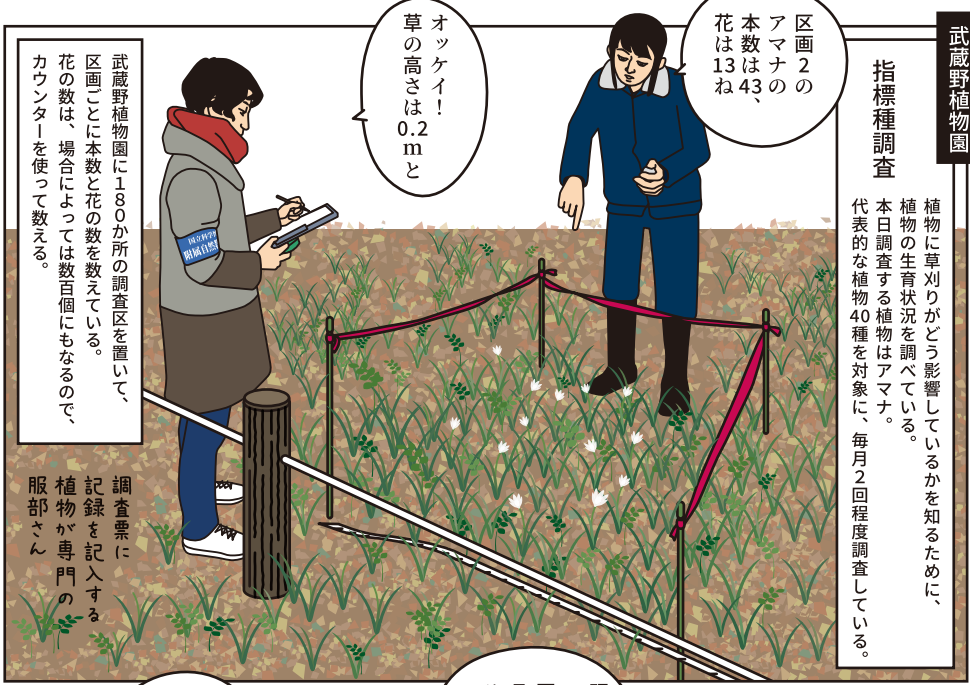
植物に草刈りがどう影響しているかを知るために、植物の生育状況を調べている。本日調査する植物はアマナ。代表的な植物40種を対象に、毎月2回程度調査している。

区画2の
アマナの
本数は43、
花は13ね

オッケイ！
草の高さは0.2mと

武蔵野植物園に180か所の調査区を置いて、区画ごとに本数と花の数を数えている。花の数は、場合によっては数百個にもなるので、カウンターを使って数える。

調査票に
記録を記入する
植物が専門の
服部さん



アマナ、
去年よりたくさん
花が咲いていたね

現業の大澤さん、
この場所の草刈りの
回数を増やしたって
言っていたから、
その成果が
でているのかも

早速、
データ解析の
打合せ
やろうよ



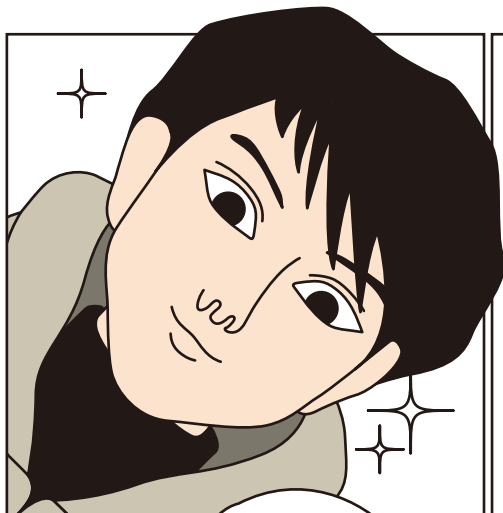
さて、戻りますか
はい



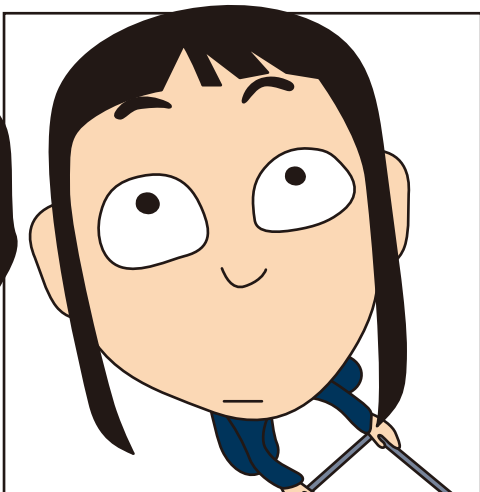
ここってさあ、
ちっとも自然じゃ
なくね？



なーんか、騙された気分



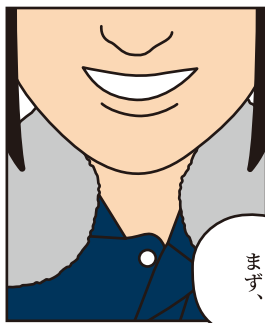
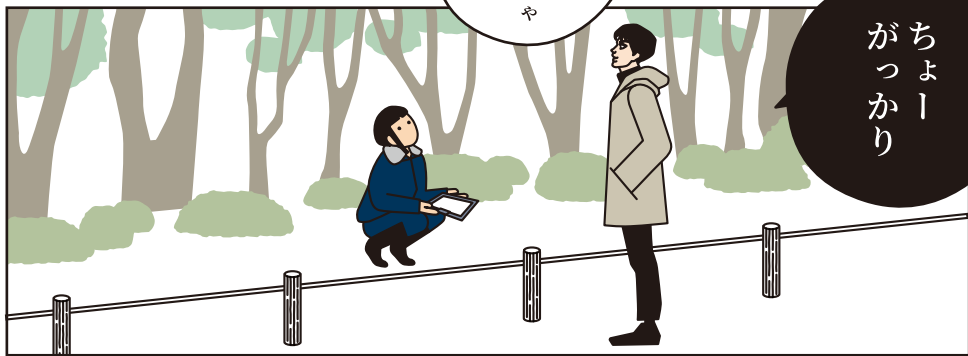
もっと
手つかずの自然
みたいな
期待しちゃった



見てりゃ
刈ったり
切ったり
整えたり

お手入れ
しまくりじゃ
ねーすか

ちよー
がっかり



まず、



ええと、



……アマナに
ピロッドツリアブが…



が……
が……
が……

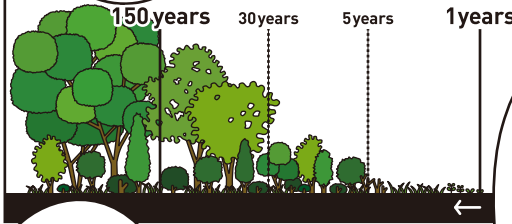
“お手入れ”
じゃなくて

“植生管理”
といえます

植生とは
「植物の広がり」のこと。
植物の広がりには
時間とともに
変化していきます

例えば、草地を放っておくと、
100年単位の長い時間をかけて
暗い森になっていきます
これを植生遷移と言います

「植生管理」は、
この変化し続ける植生を、
草刈りなどで
一定の状態に
留めておくことなんです



雑木林などが広がる
「里山」は、
かつて人の暮らしに
欠かせない場所でした。
枝や下草を燃料や
肥料に活用するなど、
人の手が入ることで
多様な動植物のすみかど
なっていました。

近年、薪や炭などを使わなくなり、
里山を利用しなくなった結果、
絶滅に追い込まれた動植物が
たくさんいるんです。

絶滅の危険性が高い動植物の名前を
掲載した「東京都レッドリスト」にも
里山に見られる動植物が
多く載っています

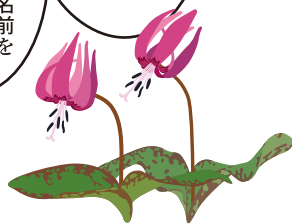
自然教育園では、
この里山の植生を、
「植生管理」で
保全しています

それは植物だけじゃなくて、
食物連鎖のつながりとか、
里山の生態系を丸ごと
守ることにつながっています……

鳥とか、昆虫とか、
土壌動物とか、菌類とか……



そして、
明るい草地から暗い森へと
植生が変化すると、
いなくなってしまう
動植物もいます



カタクリ (VU)

カワラナデシコ (EN)

植生管理は、単に草を刈るだけの作業で終わるわけではありません。草刈りが動植物にどう影響したのかを常に観察し続けながら、目標とする状態に近づけていく作業なんです

自然のメカニズムについての専門的な深い知識が必要な

植生に作用する自然の力や、植物や動物の状態を観察し、軌道修正を繰り返しながら、経験を重ね、限りなく目標に近づけていく

カタクリが咲く場所だから、芽生える前の冬にすべて草を刈って、おかなくちや

ウグイスのために、ササは一部刈り残しておこう

来園者の写真ポイントだから、手前の草はできるだけ低く刈ろう

植生管理は、知識と経験に裏付けされた「匠の技」なんです

あ、それからもう一つ、大事なこと

自然教育園は、「自然を楽しむ」ための施設でもあるので、自然を守る管理だけでは不十分な

園路近くの折れそうな枝は、安全のために切ったり分かりやすいように植物名ラベルを立てたり...来園者に向けた、安全や展示のための管理もあります

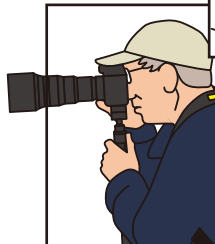
あれ？変顔してる？

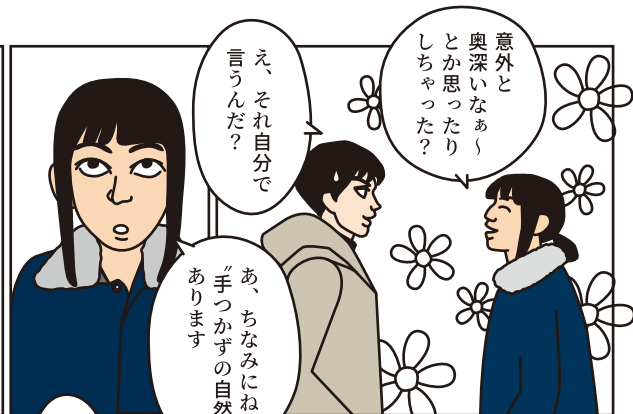
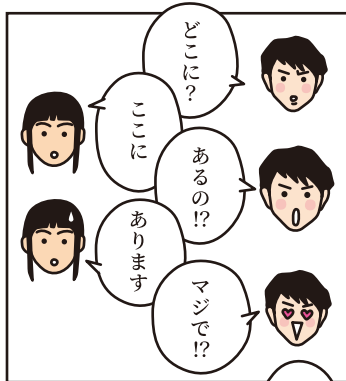
あ、終わり？

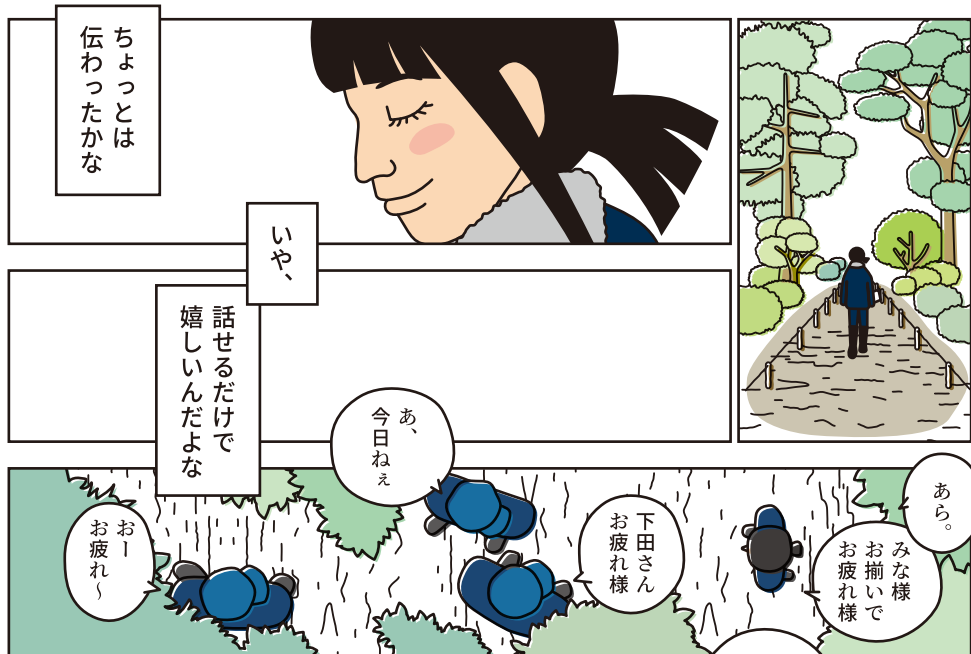
まだ聞いてくれるの？

とりあえず大丈夫！

聞いてくれてありがとう







巢箱なき森に山雀四十雀

ヤマガラ シジユウカラ

夏潮会

本作は、2022年2月5日～4月17日の期間
国立科学博物館附属自然教育園にて開催された

【企画展】

自然教育園の早春～植生管理ってなんだよ!?!～
の展示パネルをデータ化したものです